

休眠打破！

「休眠打破」とは、冬から春にかけてのこと。

桜が夏の花の芽を作り、冬の初めに花の芽はいったん眠りに入り成長が止まります。そして、夏の冬の寒がたまって休眠から目覚め、春に向けて暖かくなって成長し、開花します。このように、桜が開花する前は、春先の暖かさだけでなく、冬から春にかけての寒がたまっていくことが必要です。このような作用を「休眠打破」と言っています。寒さが不十分で「休眠打破」がうまく行われないと開花が遅れてしまいます。つまり、桜が早く咲く条件は「冬がしっかりと寒く春先に暖かくなる」ということです。

そして、春の上では春を迎えたものの、この梅雨ではまだまだ寒さの口が続いています。寒さからとって、しっかりと子供達を甘やかしてしまえばいいのですが、子供達は元気で、雪が降ってしまえば外で遊び、寒い体育館の中で縄跳びをし、教室もあたたかくなっていきます。子供達の「むずかしいなあ」「わからないうなあ」「どうして手を出してしまおう。教えてしまおう。そんなことを繰り返してると、子供が、「自分の力で解決していかうか（打破していかうか）が弱くなる」といふのはなにかと危惧しています。

学校では、「あなご」「褒めて」「自己肯定感を高める」「自信をもたせよう」といふことも言っていますが、一方、「自分の力でものを解決していかうか」も必要だと思います。そして、一方に偏らせず、バランスよく子供達を支えていけるようにならなければならないと思います。

今の学年での学び・集団での活動も、残り1ヶ月か月余りとなりました。「今の子供達の生き方を大事にしたい」とも、「将来の子供達の生き方を大事にする考え方」学校・家庭・地域が協力して子供達に接する工夫ができるように協力をお願いいたします。

校長 田丸 栄